

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成29年4月17日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ

団体名 富山学区連合町内会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者氏名 会長 笠原一郎

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	地域の防災力向上の為の防災マップの作成
事業実施区域 (小学校区)	富山小学校区
事業 実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップ作りを通して学区民の防災意識防災力の向上を図ることを目的に事業に取り組んだ ・特に小中学生を中心とした子ども達の安全確保、独居高齢者・高齢者のみの夫婦・障害者等への同様の対策を目指した。 ・防災マップ作りのため連合町内会長、副会長、会計担当者の幹部会で方針・対応策等の基本事項を検討決定。小中学校・公民館・電子町内会等の協力を得ながら、町内会長・防災協議会メンバーによる実行委員会を毎月開催し、防災マップの内容を詳細に検討、防災意識の向上・防災力の向上を図るとともに、安全を確保できる内容の物に仕上げた。 ・小学生の防災意識の向上を図るため、小学校4年生を対象としたマップ作成の説明会を開催、アンケートを実施した。このアンケートの実施により、小学生の防災に対する意識、要望事項等を把握しマップ作りに生かした。中学校にも同様のアンケートを実施した。これらの事で小中学校全体の防災に取り組む意識が向上したと認められる。町民に対してもアンケートを実施した。 ・公民館を中心に防災キャンプを行い、小中学生から一般町民178名の参加を得た。 ・海吉地区の2町内会（海吉本村・中村）と就実学園「就実・森林防災センター」との間に「一時避難場所に関する協定」を締結した。締結に至るまでに実行委員会で就実学園側と数回にわたり説明を受けた。

<p>事業目的とその達成状況と効果</p>	<p>事業目的として掲げたのは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災マップを作成する過程で、学区民各層の参加を求め、住民自らが現状を把握認識し、防災に対する意識の向上・防災力を向上させること 達成状況としては、町内会長・防災協議会メンバーを中心とする実行委員会を7回開催した他、小学校での防災マップの説明会、小中学校・町民へのアンケート実施等で多くの学区民の参加が得られ、防災意識の向上が得られた。 ・地域の課題としては、当学区の地理的特性である北側の操山に接する地域と南側の埋立地を中心とする地域という異なった地形から、急傾斜地による山崩れ・土砂災害の危険と埋立地特有の海拔の低さによる水害及び液状化の危険という両面の危険性を有している。その為、地域による災害発生の態様が異なり、学区内一律の災害対策のみでは対応できない面もあり、それぞれの地域にあった災害対応策を進める必要がある。従って今後は、各町内を中心とした個別の対策を策定・徹底することが重要と考えている。 ・地域別の災害対策の成果としては、海吉本村・中村地区（急傾斜地が多く山崩れ土砂崩れの危険性が高い地域）と就実学園「就実・森林研修センター」との間に「一時避難所に関する協定」を締結した他、各町内ごとに一時避難所を明確の設定し、災害時の避難に対する具体的な行動指針を明確にした。 ・今後の目指す方向としては、学区全体での取組により大枠は出来上がりつつあると思うが、さらに全体での取組を進めるとともに、地域の実状にあった個別町内会・組織によるきめ細かい対策の推進に取組みたい。
<p>企画などの工夫と情報公開</p>	<p>実施に当たり注力をしたことは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会長・防災協議会メンバーを中心とした実行委員会を数多く開催し、連合町内会幹部との連携を深めつつ、具体的な対応策を協議し、災害時に役立つ防災マップの作成と防災意識の共有、防災意識の向上を図った。 ・小中学生を中心に子供たちの安全確保、防災意識の向上を図るため、小中学校に協力を求め防災マップの説明会、アンケートを実施した。このことにより防災に対する認識度、意識を把握出来た。 ・3月に完成した防災マップを幅広く配布し、マップの掲示と活用を図った。 配布先としては <ul style="list-style-type: none"> ① 学区内の全戸 ② 幼小中学校生徒・教職員全員 学校内での掲示の他学習に活用してもらう。 ③ 公民館・町公会堂・交番・地域センター等の公共施設 ④ 学区内の全病院・医院 ⑤ 赤十字募金等の協力事業所に対し学区社会協議会を通して配布 ・広報活動については、電子町内会ホームページへの掲載、公民館だよりへの掲載、富山文化まつりでのマップの説明掲示等で広く衆知徹底を図った。

■収 支 決 算 書

◆収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	278,000	262,700	
負担金	69,600	65,736	
参加費			
計	347,600	328,436	

◆支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必ず記載してください)
消耗品費	20,000	7,627	クリアブック 29冊、 文具代、他
食糧費	20,000	15,313	会議お茶、コーヒー代
印刷製本費	237,600	283,524	地図A 2版両面印刷 7000部、コピー代
通信運搬費	20,000	372	切手代、はがき代
手数料			
使用料			
原材料費	20,000	21,600	岡山市中区住宅地図デ ータ
委託料	30,000	0	
報償費			
旅費交通費			
計	347,600	328,436	



区づくり推進事業

月日	実施事項	実施内容	人数
8月25日	市区づくり推進事業として決定		
9月2日	小中学校へ区づくり事業説明		3
9月5日	連町役員会	町内会・小中学校 アンケート用紙内容検討	6
9月9日	小学校4年120人全員に	防災マップ作成の説明とアンケート依頼	6
9月13日	連町役員会	今後の予定検討。町内会アンケート用紙コピーと配布	6
9月13日	中学校へアンケート用紙	用紙150枚を持参。校長へ。10/10までに。	2
9月19日	連町役員会	9/29実行委員会内容打合せ	6
9月29日	第1回実行委員会	事業説明、今後の予定	26
10月12日	中学校よりアンケート	全校生徒より回収 270人分	
10月15日	小学校よりアンケート回収	4年生120人	
10月16日	町内会アンケート回収	110部	
10月16日	業者がサンプル地図	たたき台となる地図AB両面を業者と作成	
10月18日	連町役員会	アンケート分析集計、22日第2回実行委員会打合せ	6
10月22日	第2回実行委員会	アンケート結果説明とマップに載せる内容検討	21
10月29日	文化まつり 30日も	区づくり防災マップづくり計画展示	
11月3日	連町役員会	第2回実行委員会の意見・アンケートをまとめて何を地図に載せるか	6
11月16日	連町役員会	ノーインの2人と今後の手順と日程打合せ ノーイン退出後、記載内容の再打合せ	8 6
11月18日	連町役員会	マップ掲載項目詳細検討、一時避難所マップに記載	6
11月19日	第3回実行委員会	マップ掲載項目町内会長・防災協議会委員に説明。 各会長より務集まった一時避難所をマップに記載。 質問多々あり。マップ充実のため有意義な会議	22
11月24日	連町役員会	11/19実行委員会の意見を採り入れ、マップ掲載内容を 整理し、仮マップに記入作業。	6
11月30日	連町役員会	ノーインとマップ記載内容及び今後の手順と日程打合せ	8
12月16日	ノーインより1回目校正地図届く(29部)		
12月17日	第4回実行委員会	1回目校正について、修正追加削除の会議 かなりの修正事項が指摘された。	23
12月25日	各町内会長より、修正内容をマップ上に記載して252日までに提出		
12月26日	連町役員会	25日提出の修正内容をチェック、27日の実行 委員会向に事前検討	
12月27日	第5回実行委員会	ノーイン2名出席。一時校正の修正追加内容を 町内会ごとにノーインへ説明。	21
1月22日	第6回実行委員会	修正内容を各町内会長が地図に記入 その他打合せ	22
1月25日	役員会	ノーインへ最終校正修正を伝達 最終校正2/3完成2/4役員会で最終チェック	7

